



平成 28 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社大戸屋ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 窪田 健一
(JASDAQ・コード2705)
問合せ先 執行役員経営企画部長 松岡 彰洋
電 話 0422-26-2600

特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ

平成28年3月期第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）において特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また平成28年3月期第4四半期において特別利益を計上する予定でありますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

平成28年3月期第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）において特別損失325百万円を計上いたしました。主なものは以下であります。

(1) 子会社整理損失

本日公表の「子会社清算に関するお知らせ」のとおり、当社の子会社である大戸屋（上海）餐飲管理有限公司を清算することによる子会社整理損22百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 減損損失

当社は山梨事業所の「野菜工場」において水耕栽培による野菜の試験的生産を行っておりましたが今後の見通しが立たない事から、野菜工場を閉鎖することといたしました。これに伴い野菜工場及びその拡張に備え取得しておりました「第二工場」予定地につき減損処理（147百万円）することとしました。また、国内外の店舗閉店に伴う減損処理（97百万円）を行い、減損損失計245百万円を特別損失に計上いたしました。

(3) その他

大戸屋（上海）餐飲管理有限公司を清算することによる閉店損失（10百万円）等計13百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 特別利益の計上について

平成28年3月期第4四半期（平成28年1月1日～平成28年3月31日）において以下の特別利益を計上する予定です。

(1) 生命保険金の受取による特別利益

生命保険会社から支払いを受ける保険金1,000百万円（概算）を特別利益に計上する予定です。

3. 業績に及ぼす影響について

(1) 平成28年3月期第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）に及ぼす影響

本日公表の「決算短信」において開示いたしましたとおり、上記1.の影響により平成28年3月期第3四半期累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は100百万円の損失となりました。

(2) 平成 28 年 3 月期通期連結業績に及ぼす影響

平成 27 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、現時点において修正はありません。今後の業績の進捗状況に応じて、修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

以上